

タイトル「**2021年度スポーツ科学部(公開用_コロナ対策版)**」、フォルダ「**スポーツ科学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS4608		
科目名	卒業研究		
担当教員	鈴木 典		
対象学年	4年	開講学期	通年
曜日・時限	火 5		
講義室	1407	単位区分	選必
授業形態	演習	単位数	4
科目大分類	専門		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■DPコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP3-G（状況把握力・判断力）自らの置かれた状況、及び自己が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。 DP3-H（論理的思考力・批判的思考力）理路整然とした思考を備えつつ、偏りを排除するための内容をもって、問題・課題を合理的に解決することができる。 DP4-F（探求力・課題解決力）問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP4-I（理解力・分析力）文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 DP5-J（創造的挑戦力・達成力）コンピテンスの開発を生涯にわたり継続して行うことを、自らの思考及び行動のパターンとするとともに、既存のアイデアを革新的かつ創造的に統合し、リスクをとりながら、結果に結び付けることができる。 ■CRコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンレブリック（CR）との関連 F1 探求と論拠（10%） F2 課題解決（10%） G1 状況把握（10%） H1 論理的思考（20%） H2 批判的思考（20%） I1 理解・分析と読解（10%） I2 量的分析（5%） I3 情報分析（5%） J1 継続的学修基盤（5%） J2 創造的思考（5%）		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 3 発展期～ 4 定着期		
科目概要・キーワード	ゼミナールⅠ・Ⅱでの学習を基にした各自の研究内容を定期的に発表し、研究の進捗状況を学生同士で共有し、討論方式でそれぞれの改善点を考察します。文献や資料を正確に調べ、指導教員や受講生と討論を重ねながら、学生自身の課題を深化させていきます。卒業研究での発表は調査レポート形式、プレゼンテーション、映像など多様な形式が想定されます。 授業形式は演習形式により行います。なお、授業を補充・代替するためオンライン授業（オンデマンド型・ライブ配信型）を取り入れます。 ■キーワード 文献精査、研究、反省的实践		
授業の趣旨	■副題 スポーツ科学に関する研究計画の立案および実践の発表 ■授業の目的 ゼミナールで学習した内容を中心に自身またはグループで研究課題を設定し、これまでの講義・演習で学んだ研究方法を用いて計画の立案から実践まで行い、研究結果に関する他者との議論内容を踏まえ、発表を行うことができることを目的とします。 ■授業のポイント これまで冬季スポーツ論演習、ゼミナールⅠ、Ⅱで学修した研究方法を用い、スポーツ科学（理論知）と自身の競技経験（実践知）が融和したコーチング学の研究成果をまとめ、発表を行います。		
総合到達目標	■冬季競技種目、および測定競技系・循環運動種目・持久系種目を中心としたコーチング学の研究について、自身またはグループでの検討に基づき、研究計画の立案から、研究の実践、さらに研究成果の発表を行う知識と技能を修得する。 ・ゼミナールⅠ、Ⅱで学修した研究計画立案から、調査・実験・測定の実施、さらに結果のプレゼンテーションに至る過程を精査し、卒業研究（中間発表）に向けた研究計画を説明することができる。（第2～4回） ・作成した研究計画に基づき、調査・実験・測定を実施することができる。（第5～8回） ・中間発表に向けた調査・実験・測定結果のプレゼンテーション資料（Power Pointなど）を作成することができる。（第9～15回） ・中間発表の結果を精査し、卒業研究に向けた最終的な研究計画を説明することができる。（第16～18回） ・最終的な研究計画に基づき、調査・実験・測定を適確に実施することができる。（第19～24回）		

	・卒業研究発表会に向けた調査・実験・測定結果のプレゼンテーション資料（ポスターなど）を作成し、規定に即した発表が実施できる。（第25～30回）			
成績評価方法	■リアクションペーパー（10％）適用ルーブリック G1、H1、H2、J2 （評価の観点）他者の研究に関する肯定的、批判的意見をリアクションペーパーにまとめて提出し、内容の論理性、創造性を中心として評価します。 （フィードバックの方法）リアクションペーパー提出後、授業内で各意見に対する解説を行います。 ■定例プレゼンテーション（20％）適用ルーブリック F1、F2、H1、I1、I2、I3 （評価の観点）自身、またはグループの研究実践経過、および結果を定例的（月1回）に発表し、その内容について評価を行います。 （フィードバックの方法）各発表後、授業内で講評を行います。 ■卒業研究のプレゼンテーション（70％）適用ルーブリック F1、F2、H1、I2、I3、J1、J2 （評価の観点）卒業研究のプレゼンテーション内容について評価を行います。 （フィードバックの方法）最終発表後、個別に面談、解説を行います。			
履修条件	ゼミナールⅠ（SSCS4605）、ゼミナールⅡ（SSCS4606）を履修していること。			
履修上の注意点	研究計画の精査・立案や研究の実践（調査・測定・実験などの実施）は授業時間中だけでは完結しませんので、指導教員と日程などを調整し、授業時間以外の予習、復習を含め、自主性を持って進めて下さい。			
授業内容	回	内容	回	内容
	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 卒業研究の進め方や評価について説明を行い、研究を進めていくための過程やその方法について理解し、卒業研究を通して何を学ぶかについて説明する。（F1、F2、G1、H1） ③予習（120分）ゼミナールでまとめた内容を再度確認する。シラバスを読み、授業の流れについて確認しておく。 ④復習（120分）ガイダンスによって説明された内容について再度シラバスを確認し、自身およびグループで取り組む内容とスケジュールについて確認しておく。	16	①授業テーマ 卒業研究最終発表にむけて ②授業概要 前期授業内容および中間発表会を振り返り、自身またはグループで最終研究発表へとまとめていく過程を整理する。 ③予習（120分）前期授業内容および中間発表を振り返り、まとめていくのに必要な課題を整理しておく。 ④復習（120分）最終発表までの過程を今一度確認し、次週以降の活動が円滑に進むよう内容を整理する。
	2	①授業テーマ 研究計画立案（1） ②授業概要 ゼミナールⅠ、Ⅱで学修した研究計画立案から研究成果のプレゼンテーションまでの内容を精査し、文献や被験者、測定項目の追加なども含め、卒業研究計画を説明できる。（F1、F2、G1、H1、I1） ③予習（120分）ゼミナールⅠ、Ⅱで実施した研究計画立案から研究成果のプレゼンテーションに至る過程をまとめて、課題や問題点を整理する。 ④復習（120分）授業中に作成した研究計画について、教員からの指導を含め、課題や問題点を再確認する。	17	①授業テーマ 研究計画立案の精査（1） ②授業概要 中間発表での課題や問題点に即した研究計画の精査、および立案を実施することができる。（F1、F2、G1、H1、I1） ③予習（120分）中間発表での課題や問題点を踏まえた研究計画の指針を明確化する。 ④復習（120分）授業中に作成した研究計画について、教員からの指導を含め、課題や問題点を再確認する。
	3	①授業テーマ 研究計画立案（2） ②授業概要 ゼミナールⅠ、Ⅱで学修した研究計画立案から研究成果のプレゼンテーションまでの内容を精査し、文献や被験者、測定項目の追加なども含め、卒業研究計画を説明できる。（F1、F2、G1、H1、I1） ③予習（120分）前回の授業で作成した研究計画を精査し、課題や問題点について検討を加える。 ④復習（120分）授業中に作成した研究計画について、教員からの指導を含め、課題や問題点を再確認する。	18	①授業テーマ 研究計画立案の精査（2） ②授業概要 中間発表での課題や問題点に即した研究計画の精査、および立案を実施することができる。（F1、F2、G1、H1、I1） ③予習（120分）前回の授業に基づき、研究計画の課題や問題点を整理する。 ④復習（120分）授業中に作成した研究計画について、教員からの指導を含め、課題や問題点を再確認する。
	4	①授業テーマ 研究計画立案（3） ②授業概要 ゼミナールⅠ、Ⅱで学修した研究計画立案から研究成果のプレゼンテーションまでの内容を精査し、文献や被験者、測定項目の追加なども含め、卒業研究計画を説明できる。（F1、F2、G1、H1、I1） ③予習（120分）前回の授業で作成した研究計画を精査し、課題や問題点について検討を加える。 ④復習（120分）授業中に作成した研究計画について、教員からの指導を含め、課題や問題点を再確認する。	19	①授業テーマ 研究の実践（1） ②授業概要 自身、またはグループで立案した研究計画に基づき、調査・測定・実験などを実践することができる。（F2、G1、H1、H2、I2、I3） ③予習（120分）自身、またはグループで作成した研究計画に基づく研究実施方法（調査・測定・実験などの手順）を確認する。 ④復習（120分）授業で実施した研究結果を踏まえ、次回の研究実施方法（調査・測定・実験などの手順）について、被験者や測定項目の追加などを含めて整理する。
	5	①授業テーマ 研究の実践（1） ②授業概要 自身、またはグループで立案した研究計画に基づき、調査・測定・実験などを実践することができる。（F2、G1、H1、H2、I2、I3） ③予習（120分）自身、またはグループで作成した研究計画に基づく研究実施方法（調査・測定・実験などの手順）を確認する。 ④復習（120分）授業で実施した研究結果を踏まえ、次回の研究実施方法（調査・測定・実験などの手順）について、被験者や測定項目の追加などを含めて整理する。	20	①授業テーマ 研究の実践（2） ②授業概要 自身、またはグループで立案した研究計画に基づき、調査・測定・実験などを実践することができる。（F2、G1、H1、H2、I2、I3） ③予習（120分）自身、またはグループで作成した研究計画に基づく研究実施方法（調査・測定・実験などの手順）を確認する。 ④復習（120分）授業で実施した研究結果を踏まえ、次回の研究実施方法（調査・測定・実験などの手順）について、被験者や測定項目の追加などを含めて整理する。
	6	①授業テーマ 研究の実践（2） ②授業概要 自身、またはグループで立案した研究計画に基づき、調査・測定・実験などを実践することができ	21	①授業テーマ 研究の実践（3） ②授業概要 自身、またはグループで立案した研究計画に基づき、調査・測定・実験などを実践することができ

[illegible]

		③予習（１２０分） これまでの発表形式での授業を参考により伝わるプレゼンテーションを目指し、繰り返し練習を行っておく。 ④復習（１２０分） プレゼンテーションを振り返り、必要な修正や、課題の抽出を行っておく。	２、Ｈ１、Ｈ２、Ｉ２、Ｉ３、Ｊ２） ③予習（１２０分） 前回の授業で作成した自身、またはグループのプレゼンテーション資料の精査に基づき、発展的なレイアウトを検討する。 ④復習（１２０分） 最終発表会に向け、プレゼンテーション資料の訂正、追加項目を整理し、レイアウトを整えて発表資料を完成する。
	14	①授業テーマ 中間発表会（２） ②授業概要 自身またはグループで取り組む研究の経過について発表を行う。（Ｆ２、Ｇ１、Ｈ１、Ｈ２、Ｉ１、Ｊ１、Ｊ２） ③予習（１２０分） これまでの発表形式での授業を参考により伝わるプレゼンテーションを目指し、繰り返し練習を行っておく。 ④復習（１２０分） プレゼンテーションを振り返り、必要な修正や、課題の抽出を行っておく。	29 ①授業テーマ 最終発表会（１） ②授業概要 自身またはグループで取り組んだ研究について発表を行う。（Ｆ２、Ｇ１、Ｈ１、Ｈ２、Ｉ１、Ｊ１、Ｊ２） ③予習（１２０分） これまでの準備によって作成された発表内容が正しく聴衆に伝わるよう繰り返し練習を行っておく。 ④復習（１２０分） 発表を振り返り今後のプレゼンテーション能力向上のため課題を抽出しておく。
	15	①授業テーマ 中間発表会の振り返り ②授業概要 中間発表会を振り返り、自身またはグループ間で研究をまとめていくための討議を行う。（Ｆ２、Ｇ１、Ｈ１、Ｈ２、Ｉ１、Ｊ１、Ｊ２） ③予習（１２０分） 自身またはグループでの発表内容および受け付けた質疑について確認しておく。 ④復習（１２０分） 討議結果を振り返り、今後の課題や、方向性の修正などを行う。	30 ①授業テーマ 最終発表会（２）およびまとめ ②授業概要 自身またはグループで取り組んだ研究について発表を行う。その後発表内容について講評を受ける。（Ｆ２、Ｇ１、Ｈ１、Ｈ２、Ｉ１、Ｊ１、Ｊ２） ③予習（１２０分） これまでの準備によって作成された発表内容が正しく聴衆に伝わるよう繰り返し練習を行っておく。 ④復習（１２０分） 発表を振り返り今後のプレゼンテーション能力向上のため課題を抽出しておく。
関連科目	コーチング学研究法演習（SSCS2317）、ゼミナールⅠ（SSCS4605）、ゼミナールⅡ（SSCS4606）、卒業論文（SSCS4607）		
教科書	特に指定しません。		
参考書・参考URL	日本コーチング学会編：コーチング学への招待、大修館書店、2017、ISBN978-4-469-26819-5 各自の研究テーマに即した参考図書を随時、提示します。		
連絡先・オフィスアワー	オフィスアワー 金曜日３時限目 上記以外の時間は事前に日時を調整し、ラーニングセンター、または研究室で対応します。		
研究比率			

